

(2) 種類別明細書 (増加資産・全資産用) の書き方 (記入例)

◎ 記入上の注意

1. 今年はじめて申告される方は、1月1日現在所有している償却資産の全部を記入してください。
2. 前年申告された方は、増加した資産のみ記入してください。
3. 改良費は、本体部と区別して別行に記入してください。
4. 資産の名称欄は、次の要領で記入されるようお願いします。  
 (1) 資産名称はカナ文字、漢字、算用数字及びアルファベットを使用し20字以内で資産が判別できるように記入してください。  
 (2) 濁点、半濁点ははっきり読みとれるように記入してください。

個人の場合は氏名、法人の場合はその名称を記載してください。

記載する必要はありません。

資産の種類番号を記入してください。資産の種類は「1.構築物及び建物附属設備」「2.機械及び装置」「3.船舶」「4.航空機」「5.車両及び運搬具」「6.工具・器具及び備品」の6種類です。くわしくはこの冊子の4ページを参照してください。

資産を取得した年月を記入してください。又、年号は昭和=3、平成=4で記入してください。

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者コード		所有者名												枚のうち		
		〇〇印刷製本株式会社												/ 枚目		
行番号	資産の種類番号	資産コード (一品コード)	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額		課税標準額		増加事由	摘要
					年号	年	月				十	百	千	円		
01	1		街路灯	1	4	23	10	220,000	10	0.0					①-2 3-4	
02	2		デジタル印刷機 ML-170	1	4	23	05	9,000,000	04	0.0					①-2 3-4	
03	2		製本機	1	4	19	07	6,000,000	07	0.0					1-2 3-4	〇〇市 (旧)10年
04	2		デジタル印刷機	1	4	19	02	5,000,000	02	0.0					1-2 3-4	見積法
05	2		デジタル印刷機	1	4	19	02	6,500,000	04	0.0					①-2 3-4	申告もれ (旧)10年
06	6		ファクシミリ	1	4	23	06	1,500,000	05	0.0					①-2 3-4	申告もれ
07										0.0					1-2 3-4	
08										0.0					1-2 3-4	
09										0.0					1-2 3-4	
10										0.0					1-2 3-4	
11										0.0					1-2 3-4	
12										0.0					1-2 3-4	
13										0.0					1-2 3-4	
14										0.0					1-2 3-4	
15										0.0					1-2 3-4	
16										0.0					1-2 3-4	
17										0.0					1-2 3-4	
18										0.0					1-2 3-4	
19										0.0					1-2 3-4	
20										0.0					1-2 3-4	
小計				6				26,870,000								

注意…「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。

平成19年までに取得された資産で申告漏れがあった場合、以下の例にならい、適用欄にその旨、ご記入ください。  
 (例)  
 ↓ 申告漏れしており、その改正前耐用年数が10年だった。  
 (適用欄記載例)  
 申告もれ  
 (旧) 10年

「耐用コードおよび耐用年数表」(改訂版)に掲げる耐用年数をご記入ください。中古取得の資産については「見積法」か「簡便法」で耐用年数を算定され、その旨を備考欄にご記入ください。

記載する必要はありません。